



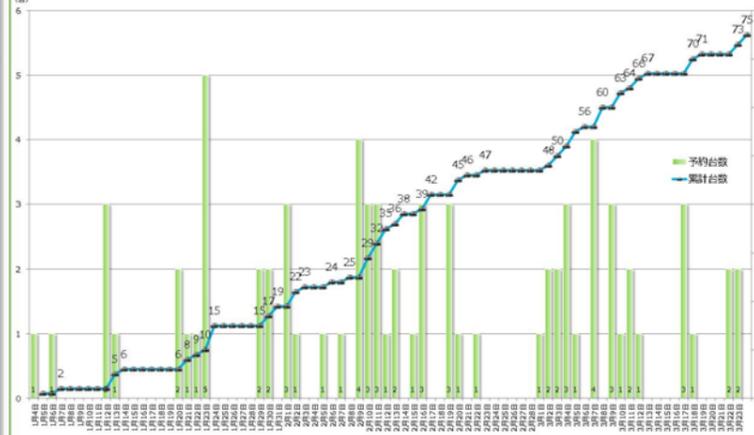
実施概要

■ 実証運行 2018年1月4日～3月23日
南横山校区において、デマンド型乗合い交通を運行



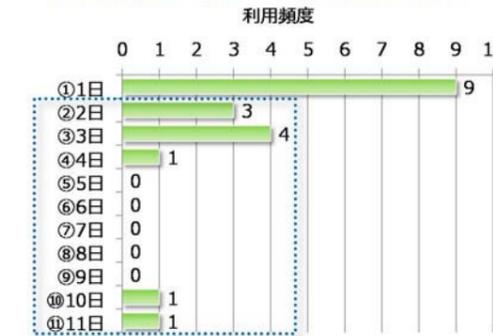
運行・ご利用の実績

■ 期間中の利用件数は、計 75 件。利用客数は、延べ 115 人。
・初期の間は伸び悩んだが、PR や相談会等を行い徐々に増加。(高齢者等は、新しく慣れないもの、クルマ中心のスタイルを変えることへの抵抗感がある。)



《利用パターンについて》

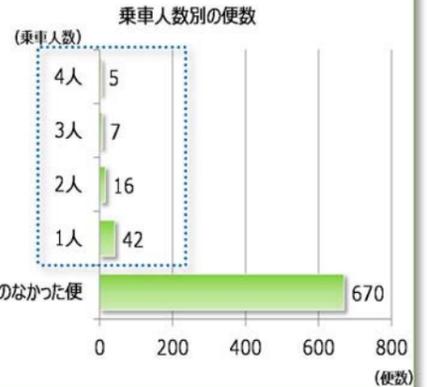
- 利用ルートは、「父鬼方面行き」より、「和泉中央方面行き」が多い。「往復予約」のほか、「行きのみ」の片道予約が多い。
■ 「和泉シティプラザ前」の乗降が突出して多い。オークワ、横山病院の利用もある。
■ 期間中、1 日ごとの利用も多いが、複数日の利用 (リピーター) の方が多い。



■ 「相乗り」は 5 便。…予約が重複する機会が少なかった。

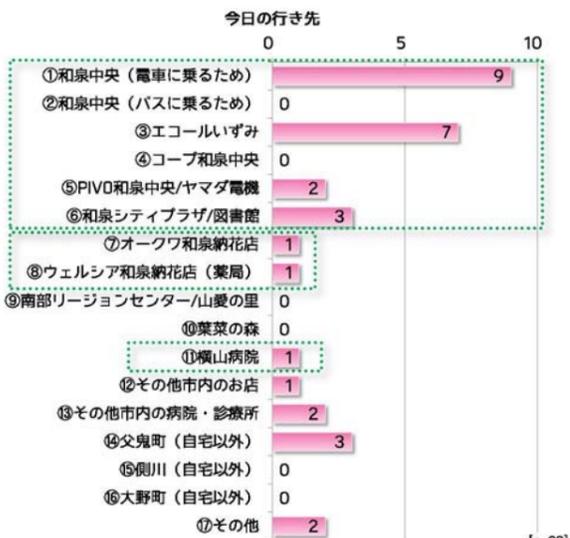
■ 定員を超える便は、なかった。
…タクシー車両がちょうどよかった。

■ 予約のない便のほうが、はるかに多かった (670 便)
…デマンドでなければ空送していた。 予約のなかった便



利用者へのアンケート

- 利用目的は、「買い物」「通院」が多いが、「家族・知人に会いに行く」「遊び」など、自由な目的も多い。
■ 行き先は、シティプラザ周辺の店舗等や、和泉中央駅が多い。(和泉中央から電車に乗る人は多いが、バスに乗り換える人は少ない。)



■ タックンを片道利用する人の理由は、「便が合わない」「帰りの予定が決まらない」「別の場所に寄る」等
もう片方では、「誰かの送迎」、「路線バス」等を利用。

■ 「タックンが無ければ出かけていなかった」という人が存在。



無くても出かけていた人の多くは「クルマ (自分で運転・送迎)」で移動していた。(タックンが、クルマ利用を見直し公共交通を利用することに寄与) (一部、路線バスとの回答もある)

■ タックンの良いところについて (主な回答)

- ・誰かに送迎してもらえると違って、気を遣わない。(…これまで気を遣っていた)
・自分で運転しなくて済む。(…できれば運転したくない)
・乗り心地が良い。
・料金が決まっているので安心。
・自宅近くで降りられる。
・予約できる。(…必ず乗れる点が安心)

■ 本格運行されれば「週 2~3 回利用」との回答が中心 (意見交換会では、現実的には週 1 回程度との意見もある)

地域住民へのアンケート

■ タックンの認知度は、約 9 割。(ただし、使い方まで理解している人は、地区によって差がある)



認知手段は、全戸配布の「ルートマップ・時刻表」、市の「広報誌」、町内の「説明会等」。(乗った人の認知手段は、「説明会等」が多い。)

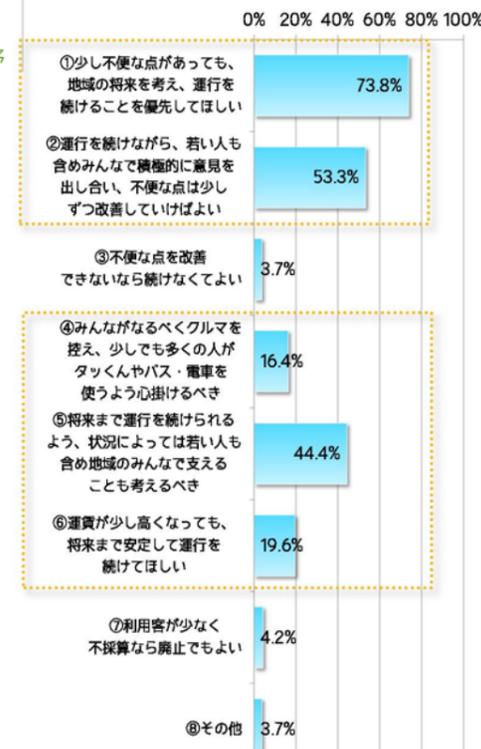
- 乗った人の満足度は、約 9 割。
■ 乗らなかった人の外出手段は、ほとんどがクルマ。(自分で運転、送迎) (地区によっては路線バスも)

■ 改善の希望について (主な回答)

- ・便の間隔 (…特に利用者で多い)
・始発・終発の時刻
・行先の停留所
・フリー降車の仕組み
・予約の仕組み (…特に利用者で多い) (2 時間前よりも遅くしてほしい、予約電話自体に不慣れ 等の意見)
★利用者では「今のままでよい」、未利用者では「使わないので特にない」が多いのも特徴的。
★改善された際の意向は、利用者では「利用回数が増える」、未利用者では「やや増える程度」が多い。

■ 今後に向けた考え。

- ・「少々不便でも続けること優先」、「少しずつ改善」との意見が多い。
・クルマを控えることには消極的、料金が上がることには抵抗感。



全体を通じて

- 同じ校区でも、「現状」や「考え方」は多様。
例) 路線バスがなく、外出手段がない高齢者が増えている。説明会・相談会等への参加割合も高く、タックンを積極的に利用。
例) クルマ (運転・同乗) で外出できるが、数年後にはタックンのような手段が必要。路線バスがあっても利用者は少ない。 等

■ 特に高齢者等とのコミュニケーションが重要。実証運行というプロセスが有効。

説明会・相談会等での対面のコミュニケーションで、「今後のことを考え、知ろうとする機会」を提供できた。実証運行として行ったため、注目を得られ、随時コミュニケーション機会を提供でき、町会等の熱心な対応も見られた。

(今後の予定)



